

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	5:地域福祉
具体的な施策【施策】	9:地域福祉の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送ることができるよう、多種多様なニーズに対応するため、各種福祉サービスの包括的提供体制の構築に向けた取組みを進めます。</li> <li>・育児、介護、障がい、貧困といった複合化した課題について、分野を超えて包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりに努めます。</li> <li>・市民に対して、地域福祉の取組みや現状などについて周知啓発を図ります。</li> <li>・市民や各種団体などに対して、地域福祉推進に有益な情報の共有などを行い、コミュニティ活動の円滑な実施を支援します。</li> <li>・市民や民生委員などの各種団体に研修を行い、地域福祉において重要な役割を担う人材の育成を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	地域福祉を円滑かつ効果的に推進するため、第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（R2～R6年度）の策定や社会福祉団体育成事業、福祉センター管理運営事業などの事業を実施し、地域福祉の推進に努めた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染予防のため、事業の休止等を行ったり、市民の利用控え等があったことから、成果が上がっていない事業があった。</li> <li>・令和2年7月豪雨により被災した世帯の見守りや相談支援等を行い、被災者の安心した日常を支え、生活再建と自立を支援するため、被災世帯への各種生活再建支援事業を実施する必要がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安全で安心して福祉サービス利用ができるよう、新型コロナ感染予防対策を行いながら、継続して事業を実施する。</li> <li>・福祉ニーズの多様化や複合化した課題等に対応するため、各関係機関や各種団体（八代市民生委員・児童委員、八代市社会福祉協議会、八代市地域支え合いセンター等）と連携強化を図り、重層的な取組支援を実施する。</li> </ul>
備考・コメント		

2	担当課かい名	健康福祉部_こども未来課
	現状（進捗状況）	地域ふれあいセンターの管理運営を行い、地域の放課後児童クラブを設置した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	施設の老朽化により、今後、修繕等の管理運営に要する経費が増大することが予想される。
	第2期計画の方向性	地域の放課後児童クラブの安定した運営のために、施設の管理運営を行いながら、今後、学校施設等への移転等について検討する。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	6:健康づくり
具体的な施策【施策】	10:健康づくりの推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善の正しい情報提供とライフスタイルを考慮した栄養相談・指導に努めます。また、地区組織と協働し、各地域の健康課題の情報提供と食習慣改善の知識の普及に努めます。</li> <li>・自殺予防として、専門職による相談の充実を図り、見守りができるゲートキーパー（命の門番）の育成を行い、早期発見・早期対応を強化します。</li> <li>・すべてのライフステージにおいて、歯科保健教育を強化するとともに、一人平均むし歯数の減少につながるよう支援します。</li> <li>・予防接種については、保護者や接種対象者に対する情報提供に努め、必要性の認識を図るとともに、医療機関との連携のもと、受診時などの機会を捉えて、重要性と必要性の啓発に努めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	市長公室 総合支援担当
	現状（進捗状況）	新型コロナウイルス感染症予防のため、熊本県知事が令和2年4月2日に県民へ不要不急の外出自粛を要請されたことを踏まえ、感染者が発生していない本市において引き続き感染者を発生させないために、市民へ緊急にお願いすべき事柄について周知を行ったもの。 配布対象：全世帯 部数：52,000枚
	施策の進捗度	S（着実に進捗している）
	課題	特になし（今後事務予定なし）
	第2期計画の方向性	特になし（今後事務予定なし）
	備考・コメント	

2	担当課かい名	健康福祉部 健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	【千丁健康温泉センター管理運営事業】 市民の健康保持増進を図るため千丁健康温泉センター維持管理を適切に行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	【千丁健康温泉センター管理運営事業】 入館料等の歳入に比べ歳出が大幅に上回ることから対費用効果の検討や開館から25年が経過し設備等の老朽化が進行していることから、修繕等では対応できない大規模な改修工事等が必要とされる場合、その改修費用の財源の検討が課題である。
	第2期計画の方向性	【千丁健康温泉センター管理運営事業】 今後も入館者数の推移をみながら、修繕等を行い適切に施設を維持管理していく。
備考・コメント	泉源井戸ケーシングが老朽化していることから、再度温泉泉源井戸水中ポンプが故障した場合は泉源井戸を新たに掘削する必要がある。	

3	担当課かい名	健康福祉部 健康推進課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員の養成講座を実施し、地区組織と協働した活動により、食生活改善の知識の普及啓発に取り組んだ。</li> <li>・自殺予防については、ゲートキーパー養成講座を市民及び相談を受ける職員等を対象に実施し、人材育成を行った。また、市報、ホームページ等での啓発活動に取り組んだ。</li> <li>・歯科保健では、フッ素洗口事業に取り組む保育園や学校が増加した。コロナ禍の対策として2歳児歯科健診を、個別健診に切り替えて事業を継続した。</li> <li>・予防接種については、保護者や接種対象者に対する情報提供を適時行い、接種対象者への受診勧奨を行った。また、新型コロナウイルスワクチン接種については、医師会等関係機関と連携をしながら、市民が早期に、安全・安心な接種ができるよう、接種体制を整備し、接種を実施している。</li> <li>・市民が楽しみながら継続した健康づくりが行えるよう「健康づくり応援ポイント事業」を開始し、健康づくりに取り組むきっかけとした。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	健康づくりについては、正しい情報や知識など繰り返し周知、啓発していく必要があり、今後、ICT等による情報発信も必要になってくる。また、個人だけではなく、地域団体や職場等で楽しみながら健康づくり活動に参加できる体制を強化する必要がある。 感染症予防については、正しい情報をリアルタイムに発信していく必要がある。
	第2期計画の方向性	各年代ごとに健康課題を整理し、ICT等を活用した情報発信の工夫を行うとともに、継続した健康づくり活動ができる体制の強化を行う。 歯科保健、予防接種事業については、関係機関や医療機関等との協力を密にし、市民が受診しやすい体制を強化し、重要性と必要性の啓発に努める。
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	6:健康づくり
具体的な施策【施策】	11:生活習慣病予防の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診、がん検診の受診率向上を目指すとともに、保健・医療連携による重症化予防事業に取り組みます。</li> <li>・ 市民自らの健康寿命延伸の取組みへの支援と、発症予防に関する意識啓発のため、市民の健康づくりを応援する仕組みを構築します。</li> <li>・ 幼稚園、保育所、小学校、中学校の関係機関や健康づくりを支援する関係団体と連携し、健康教育・相談、周知啓発を強化し、生活習慣病予防の取組みを進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部 健康推進課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無料クーポン券の送付や未申込者への受診券送付、広報誌やホームページ、ラジオ、SNS等による広報活動、医療機関と連携した「特定健診同等検査情報提供事業」等、受診率向上の取組を実施した。また、「保健医療連絡票」等を活用し医療機関と連携した重症化予防の保健指導を実施した。</li> <li>・ 市民の生活習慣病予防や健康づくりの取組の支援として「健康づくり応援ポイント事業」を開始した。</li> <li>・ 地域団体や関係機関と連携し、健康教育・健康相談等を行い、また、広報誌やホームページ、ラジオ、SNS等においても健康に関する情報を提供した。</li> </ul>
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活習慣病の発症予防及び重症化予防を行う上で、疾病の早期発見は重要である。そのために健診内容や受診しやすい健診体制を整備し、受診率を向上する必要がある。</li> <li>・ 特に若い世代の受診率が低く、企業や地域団体と連携した周知啓発を強化する必要がある。また、未受診者の分析を行い、効果的な受診勧奨を行う必要がある。</li> <li>・ 疾病の重症化予防を行う上で、早期の治療開始に繋がるとともに生活習慣の改善が重要である。医療機関と連携した保健指導を行い、精密検査受診率や特定保健指導実施率等を向上する必要がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	生活習慣病の発症予防、重症化予防を目的に、疾病の早期発見のため、関係機関や地域団体と連携した健診受診率の向上を図る。また、医療機関と連携した保健指導により早期の治療開始に繋がるとともに治療中断を予防し、疾病の重症化を予防する。
備考・コメント	「健康づくり応援ポイント事業」は「10 健康づくりの推進」で評価	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1 誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3 支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	7 障がい者
具体的な施策【施策】	12 障がい者の自立と社会参加の支援
施策の内容	①障がい者が必要とする情報の入手やコミュニケーションの支援をさらに進めるとともに、関係機関との連携のもと、道路・交通・公共施設などのハード面のバリアフリー化を進めます。 ②障がい者の自立と社会参加を促進するため、障がい者の地域移行を図るとともに、一般就労への移行と就労定着のための支援を強化します。 ③障がい者が地域で自立した日常生活や社会生活を送るために、関係機関との連携や包括的な支援の充実を図ります。 ④市民の障がいへの理解を深め、心のバリアフリー化の推進と障がい者の見守りを強化します。

1	担当課かい名	健康福祉部_障がい者支援課
	現状（進捗状況）	①市報の点字訳・音声訳による情報のバリアフリー化、言語聴覚障がい者への手話や文字などによる、コミュニケーションの支援事業を実施した。②障がい者の地域での生活を支えるため、地域活動支援センターとの意見交換等を実施し、障がい者の利用促進を図った。③障がい者本人や家族からの相談支援の充実と関係機関の連携強化により、不安解消や問題解決が図られた。④障がい者サポーター研修の実施により、市民の障がいへの理解が深まった。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	ハード・ソフト両面において、障がいや障がい者への対応や理解が十分でない状況がある。障がい者の社会参加が可能な環境整備と啓発活動に取り組む必要がある。
	第2期計画の方向性	公共施設等のユニバーサルデザイン化による環境整備の推進を図るとともに、多くの市民に障がい者サポーター研修を受講してもらうことにより、障がいや障がい者への正しい理解を促進する。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1 誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3 支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	7 障がい者
具体的な施策【施策】	13 障がい者への福祉サービスの充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいのある人とその家族がサービスを利用しながら地域で安心して生活できるよう、サービスの充実と関係機関の連携により、支援体制の整備を図ります。</li> <li>・ 福祉サービス利用の決定にあたっては、関係機関と連携しながら的確に利用者の状況を把握し、利用者にあった適正なサービスが提供されるよう努めます。</li> <li>・ 児童発達支援のための拠点を整備し、障がい児やその家族、障がい児を預かる施設への専門的支援体制を強化します。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部 障がい者支援課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定特定相談支援事業者や障害福祉サービス事業者等と本市による情報共有や意見交換等により、障がい者等のニーズの把握や切れ目のないサービス提供に努めた。また、ニーズの高い就労系サービス事業所の整備を図った。</li> <li>・ 福祉サービス利用の決定においては、障がい者等の意思確認に加え、障害福祉サービス事業所等に対してもサービス利用状況を確保するなど、丁寧な情報収集のもとでサービス提供に努めた。</li> <li>・ 令和2年4月に児童発達支援の拠点となる児童発達支援センターを整備するとともに、障害児通所支援事業のサービス支給量を見直すなど、サービス支援体制の整備やサービス利用環境の充実に努めた。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者等のサービス利用においては、障がい者等のサービス利用計画を作成する指定特定相談支援事業所の整備が急務である。このため、一般相談支援事業所を含めた相談支援体制の強化を図る必要がある。</li> <li>・ 地域生活への移行を進めるうえで、受け皿となる共同生活援助事業所等の更なる整備を図るとともに、就労系事業所における支援体制の充実・強化を図る必要がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援体制の充実・強化を図るとともに、障がいのある人とその家族がサービスを利用しながら地域で安心して生活できるよう関係機関等による一層の支援体制の構築を図る。</li> <li>・ 福祉施設入所から地域生活への移行を図るとともに、一般就労への移行や地域定着に向けての支援の充実・強化を図る。</li> </ul>
備考・コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「第4期八代市障がい者計画」及び「第6期八代市障がい福祉計画・第2期八代市障がい児福祉計画」との整合性を図る。</li> </ul>	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1 誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3 支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	8 高齢者
具体的な施策【施策】	14 生涯現役社会の実現と多様な担い手による生活支援の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が生活支援の担い手として社会参加できるよう、機会創出を図ります。</li> <li>・ 自助・互助・共助で高齢者を支える地域づくりを促進していきます。</li> <li>・ 公的サービスだけでなく、ボランティア・NPO・民間企業などの多様な主体によるインフォーマルなサービスも含めた生活支援の充実を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	げんき体操、いきいきサロン等の市民の福祉保健の増進に関する会合等に対する施設の提供。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナ感染予防のための事業休止や利用控え等により、利用者数が減少している。
	第2期計画の方向性	利用者が安全で安心して利用ができるよう、新型コロナ感染症予防対策を実施し、事業を継続する。
備考・コメント		

2	担当課かい名	健康福祉部_長寿支援課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センターによる高齢者の雇用機会の創出、生きがいづくりの場を提供した。</li> <li>・ 老人クラブの活動を支援し、老人クラブの地域活動による高齢者の社会参加の機会創出、生きがいづくり、健康づくりの場を提供した。</li> <li>・ 老人福祉法による、老人福祉施設入所措置事業を実施した。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	急速に高齢化が進展するなかで、認知症高齢者の増加、核家族化の進行や家族の介護機能の低下などにより、地域社会の機能や世帯構造が大きく変化する中で、高齢者の生きがいづくりについて、公的サービスだけでなく、地域、ボランティア・NPO・民間企業などの多様な主体によるインフォーマルなサービスも含めた生活支援の充実がより大きな課題となっている。
	第2期計画の方向性	<p>高齢者が、敬愛され、生きがいをもって健康で安心した生活を送ることができるよう、地域住民と公的サービス機関が協力し地域社会全体で支えていく地域づくりに努める。</p> <p>また、シルバー人材センターや老人クラブに対し、支援をすることで、より多くの高齢者の社会参加や生きがいづくりの機会の創出を図る。</p>
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	8:高齢者
具体的な施策【施策】	15:介護保険事業の適切な運営
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者一人一人の尊厳が尊重され、できるかぎり住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、自助・互助・共助・公助の理念のもと、地域で支える仕組みづくりを進めます。</li> <li>・適切な要介護・要支援認定などを行うとともに、認定者の自立支援に向けて、必要なサービスを過不足なく利用できるよう、介護給付の適正化を図ります。</li> <li>・介護保険特別会計の安定した運営を図るため、必要な財源確保に努めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	介護保険法第8条第7項に規定する通所介護事業を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	地域住民の減少や要介護度の重度化等により、利用者の減少が一層進む可能性がある。
	第2期計画の方向性	住み慣れた地域で安心して暮らせるためにも事業を継続する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	健康福祉部_長寿支援課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービス体制整備事業の実施や地域ケア会議により得られた地域課題を地域と協働で課題の解決にあたった。</li> <li>・介護給付等費用適正化事業や介護予防ケアマネジメント事業により、介護・介護予防サービスの提供の適正化に努めた。</li> <li>・第8期介護保険事業計画を策定し、今後の介護サービス給付費等の見込みを踏まえ、計画期間（3年）の介護保険料を設定した。また、介護保険特別会計の繰越金の一部を基金へ積み立てた。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進む中、地域コミュニティの維持が難しくなっている地域が出ている。</li> <li>・利用者が望む介護サービスとその人に必要なサービスにずれが生じるケースが多くなっている。</li> <li>・今後、新型コロナウイルス感染症の感染の改善状況によっては、介護サービス利用が増え、給付費が大きく変動する可能性がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性を活かし、地域が求めていることを近隣のコミュニティと協力し実施するなど、地域間で協力しながら、支える仕組みづくりを進める。</li> <li>・必要な方に必要な介護サービス等を提供できるよう、関係事業所と協力しながらサービスの提供に努める。</li> <li>・介護保険制度の安定運営のため、基金の適切な管理を行っていく。</li> </ul>
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	9:医療
具体的な施策【施策】	16:在宅医療と介護の連携
施策の内容	・高齢者を地域ぐるみで支える地域包括ケアシステム構築に向け、医療や介護をはじめとする関係機関、多職種の連携体制構築を図ります。

1	担当課かい名	健康福祉部_健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	R2年度医療介護資源調査において、新たに介護人材調査を行い、八代地域における介護に携わる人員を把握し、各関係機関に情報提供を実施した。 地域包括ケア啓発のため、各地域の民児協・いきいきサロン・老人クラブ等に積極的に出向き、啓発講座を行った。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	地域住民への啓発事業である、地域包括ケア推進住民講演会がR2年度は新型コロナの影響により開催できなかった。 今後も新型コロナの影響が懸念される。
	第2期計画の方向性	医療と介護の連携を推進していくためには、課題の共有や解決策に向け関係機関と協議していく必要があり、また、多職種の専門性の相互理解、知識の向上等を図るための研修会等も重要と考える。現在は新型コロナ感染症予防対策も必要とされているため、ICTの活用を検討していく。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	9:医療
具体的な施策【施策】	17:地域医療の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している八代市医師会・八代郡医師会、八代歯科医師会と連携した休日・夜間などの時間外の診療について、今後も体制の維持・充実に努めます。</li> <li>・医療の確保が困難な地域での医療を担うため、今後もより効率的な診療所の運営を図るとともに、医療の安定的かつ効率的な供与と従事者の人材確保に努めます。</li> <li>・地方の医師不足問題が深刻化するなか、各診療所でへき地医療を継続していくため、県や関係機関との連携のもと、医師の確保と医療体制の整備を継続して実施します。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	夜間急患センターの運営、休日在宅当番医を共に市郡医師会へ委託。 八代圏域病院群輪番制を運営するため、補助金を熊本労災病院・熊本総合病院・八代北部地域医療センターへ支出。 泉地区にある3つのへき地診療所（椎原診療所、下岳診療所、泉歯科診療所）により地域住民の健康を守る為医師確保や医療体制の整備を行った。
	施策の進捗度	C（進捗について課題がある）
	課題	夜間急患センターについては利用者数が減少しており、原因として新型コロナによる受診控えが考えられる。 へき地診療所については、事業収入となる「保険及び一部負担金収入」や「尿・血液検査等実施人数」が減少しており、原因として新型コロナによる受診控えが考えられる。また、医師確保に向けて八代郡医師会や八代市医師会、熊本労災病院、熊本総合病院等の民間医療機関等と継続して協議を行っていく。
	第2期計画の方向性	住民の健康を守るためにも事業を継続する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	健康福祉部_健康推進課
	現状（進捗状況）	骨髄バンク事業にドナー登録を行い、骨髄などの提供を完了した方に対し、骨髄などの提供に係る通院・入院等に対し、14万円を上限に費用を助成した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	八代市骨髄等移植ドナー助成事業の周知啓発が不足していた。
	第2期計画の方向性	より多くのドナー登録者の増加を図るため献血事業の機会を利用し、八代市骨髄等移植助成事業の周知啓発を行っていくとともに、骨髄バンク事業におけるドナーへの経済的負担を軽減する本事業を継続して実施していく。
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	9:医療
具体的な施策【施策】	18:医療保険制度の適切な運営
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恒常的に健全性を維持するための適正な賦課と収納率の向上に努め、財源の確保を図ります。</li> <li>・ 特定健診受診率の向上・特定保健指導実施率の向上を図り、生活習慣病の発症や重症化を予防し、また、レセプト点検の充実強化やジェネリック医薬品普及促進などの医療費適正化を進め、歳出の抑制を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_国保ねんきん課
	現状（進捗状況）	平成30年度に税率改正を行い、口座振替・年金天引き等の納付勧奨、コンビニ納付等の利便性の向上による収納・財源の確保に努めるとともに、生活習慣病の予防やジェネリック医薬品の普及促進等の医療費適正化により、令和2年度に累積赤字が解消され令和3年度は、繰上充用を行わず、国保の財政運営の健全化が図れている。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	被保険者の高齢化に伴い医療費の増加が懸念されることから、生活習慣病等の重症化予防の取組が重要である。そのため、特定健診のより一層の受診率の向上、医療機関と連携した保健事業を実施することが必要である。
	第2期計画の方向性	被保険者の特定健診受診率向上のため、受けやすい健診体制の充実や受診勧奨に取組むとともに、チラシの配布・生活習慣病予防の周知啓発、健診結果等から生活習慣病ハイリスク者への医療機関と連携した保健指導や個別の訪問指導を行い重症化防止に努める。また、レセプト点検を通じて、医療機関等に対して、適正な診療・請求を促し、ジェネリック医薬品を活用した医療費負担の軽減による医療費適正化に努める。 国民健康保険の財政運営の健全化と財源確保のため、適正な賦課と収納の確保に努める。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	10:社会援護
具体的な施策【施策】	19:生活困窮者に対する包括的な支援
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人や、単に経済的な問題だけでなく、日常生活や社会生活を送る上で多様な問題を抱えた人に対し、本人の状態に応じて、包括的かつ継続的な支援を実施し自立を促します。</li> <li>・ 生活保護に至る前の段階から支援を行うことにより、困窮に対する課題の複雑化、深刻化を防ぎます。</li> <li>・ 地域での支援ネットワークを強化するために、さまざまな社会資源に働きかけて、地域の関係づくりを進めます</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_生活援護課
	現状（進捗状況）	生活困窮者の自立に向けた相談窓口である自立相談支援機関の周知を広報紙や市ホームページで行い、生活保護に至る前の生活困窮者に対し支援を行った。住居確保給付金について、新型コロナウイルス感染症による対象要件や受給期間の拡充を市ホームページ等で広報し、申請増加に努めるとともに、住居確保困難に直面している人たちの住居と就労機会の確保に向けた支援を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	本施策により、自立に向けた支援を実施しているが、自立相談支援機関での相談件数は毎年増減を繰り返している状態で、未だ相談に至っていない人が多数いると思われるため、引き続き制度の周知が課題である。また、生活困窮に陥った理由は一つではなく、様々な要因が複合的に重なり合っているケースが多いことから、専門的な機関との連携強化も今後の課題である。
	第2期計画の方向性	本施策による生活困窮者に対する支援を効果的に実施できるように、委託事業者等関係機関との連携をより緊密にするるとともに、制度の周知方法の多様化を図っていく。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	3:支え合い健やかに暮らせるまちづくり
分野	10:社会援護
具体的な施策【施策】	20:生活保護行政の適正な運営
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護受給者の就労による経済的自立を目指し、ハローワークなどの関係機関との連携を強め、就労支援を充実します。</li> <li>・収入状況の把握に努め、生活保護費の不正・不適正受給の未然防止に努めます。</li> <li>・民生委員をはじめとした関係機関との連携を強化し、生活保護受給者の生活状況の見守りを行います。</li> <li>・生活保護受給者の健康管理に関する支援を適切に行うとともに、医療扶助の適正化を進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	健康福祉部_生活援護課
	現状（進捗状況）	被保護者の就労促進を図るために、毎月ハローワーク職員による生活援護課での出張相談を開催している。ケースワーカーの技能向上のための研修や各種調査を行い、生活保護費の不正・不適正受給の防止に努めている。また、毎年5月の八代市民生委員児童委員協議会会長会に出席して、被保護者名簿を民生委員に渡し、見守り活動を行ってもらうなど連携の強化を図っている。被保護者健康管理支援事業を行うにあたり、本市の被保護者の健康状態・医療費の分析を業務委託により実施した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	被保護世帯のうち、高齢者世帯の増加により、扶助費の中でも医療扶助費が年々増加しているため、医療扶助費の適正化を図る必要がある。また、生活保護費の不正・不適正受給が発生しているため、収入状況等の把握に努め、未然防止に努める必要がある。
	第2期計画の方向性	被保護者健康管理支援事業が創設され、令和3年1月から本市においても事業を実施しており、今後も、健康推進課と連携し、健診受診勧奨、保健指導、頻回受診指導等を行い、被保護者の健康管理及び医療扶助費の適正化を図る。また、生活保護費の不正・不適正受給を防止するために、ケースワーカーの技能向上のための研修や各種調査の徹底を図る。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		